



Super Taikyu Series 2021 Round 6

SUPER TAIKYU RACE in OKAYAMA RACE REPORT



Audi Sport
customer racing



スーパー耐久シリーズ 2021 Powered by Hankook 第 6 戦 スーパー耐久レース in 岡山
2021/11/13-14

岡山国際サーキット (1 周 3.703km)

Audi Team AS Sport

#505 エヴァ RT 初号機 Audi R8 LMS GT4(ST-Z)

予選: クラス 11 位 (13 台中)

決勝: クラス 5 位 (13 台中)



2021 年スーパー耐久シリーズ 第 6 戦 スーパー耐久レース in 岡山が 11 月 13 日～ 14 日に岡山県岡山国際サーキットにて行われました。

今回は決勝でのレースペースを最優先としたセットアップを進め、予選では 11 位と沈んでしまう形となりましたが、目論見通り決勝では素晴らしいパフォーマンスを魅せました。スタートからトップ集団と同じペースで次々と前のマシンをオーバーテイク。1 回目のピットの時点では 2 位までジャンプアップし、その後も激戦区の ST-Z クラスで一歩も引かない熾烈なバトルを繰り広げ #505 エヴァ RT 初号機 Audi R8 LMS GT4 は今シーズンベストリザルトの 5 位でチェッカーを受けました。

[予選レポート]

11月13日(土)スーパー耐久レース in 岡山が行われた。岡山国際サーキットは非常にテクニカルなレイアウトとなっており、ミッドシップのR8との相性は悪くない。チームは最終戦で有終の美を飾れるようにレース前からたくさんの準備を重ねてきた。

その甲斐もありマシンは走り始めから安定したパフォーマンスを見せ、ベースセットから大きな変更は加えずに予選に挑んだ。

まずAドライバー予選は西村選手が1分38秒087をマークした。

続くBドライバー予選はShaun選手がドライブし、1分36秒438をマーク。

2人のドライバーの合算タイムにより、予選順位は13台中11位というポジションになった。

順位だけを見ると沈んでしまった様に見えるが、今回のセットアップは一発の早さよりも3時間の決勝レースで結果を出すべく、レースペースを最優先したセットアップとなっている為、チームはこの結果をポジティブに捉えて、決勝レースへ念入りにメンテナンスと戦略準備を進めた。



[決勝レポート]

11月14日(日)いよいよ迎えた2021スーパー耐久最終戦。

チームは出来る限りの準備を終えてスタートドライバーを務めるShaun選手にマシンを託した。

Shaun選手はその期待に応えるべく、オープニングラップから果敢にバトルを仕掛け次々にオーバーテイクに成功し、7位にジャンプアップ! その後もST-Zの強豪ドライバー達とギリギリながらもフェアなバトルを展開し、中継映像でも常に注目され続けた。そして41周目にピットインする頃には2位までポジションを上げていた。ドライバー交代を済ませ西村選手がコースイン。リヤ2本交換の影響からくる前後バランスに多少苦労しペースを上げるのに時間を要してしまったものの、ミスなくラップを重ねていく。

そして75周目に再びピットインしShaun選手にステアリングを託す。4輪交換を終え7位でコースに復帰した。その後もShaun選手による魅せる走りが光る。ハイペースでラップを重ねて前のマシンとの差を詰めて、オーバーテイクに成功し先ずは6位にポジションアップ。それにとどまらずに素晴らしいペースをキープして終盤のスパートを見せる。そして残り3周で5番手に浮上! 更に4位を狙って差を詰めていくが、残念ながらタイムアップ。#505エヴァRT初号機Audi R8 LMS GT4は5位でチェッカーフラッグを受けた。

惜しくも表彰台までには僅かに届かなかったものの、チーム全員の素晴らしい仕事により力強いパフォーマンスを見せ今シーズンベストリザルトにて最終戦を終える事になった。

皆さま一年間応援をありがとうございました。



[チーム代表コメント・Cドライバー] 田ヶ原章蔵

鈴鹿レース惨敗後、大きくチーム方針を変更して、エンジニア&メカさんとも話し合い車両の見直しを行った事が今回の大きな収穫であったと思います。2020年から始めたプロジェクトでしたが、本当にエンジニア&メカさんチームが腐らず、前だけを向いて詰めてくれた結果でした。更に成績不振でも、信じて変わらずサポートを下された企業様や支援者の皆さんには、心より感謝申し上げます。ありがとうございました！

我々は更に前を向き、今後も地に足をつけて邁進していきますので、引き続きの応援宜しくお願い申し上げます！



[チーム監督コメント] 澤田栄宏

コロナ禍も一旦落ち着き、無事開催されたことを嬉しく思います。関係者の皆様ありがとうございました。振り返れば激戦のZクラスの中厳しいBOPでパフォーマンス不足のシーズンでしたが、最終戦である岡山ラウンドでは、メカチームのセッティング、ドライバー陣の奮闘もあり決勝では良いレースが出来、次のステップに向け様々な経験が出来ました。また、多くのお客様にもご来場頂き声援くださった事にチーム一同感謝申し上げます。



[Aドライバーコメント] 西村元希

今シーズンは昨年よりもマシンのセッティングや様々な部分でチーム力が上がりました。それでもまだ他チームとの差が前戦まではかなり有りました。そのタイム差を少しでも詰めるために、チームメイトのショーン・トン寄りのセッティングになり、僕自身と他ドライバーが乗りこなすことに苦戦していました。そこで、今回は僕が希望する乗れるセッティングにしてもらい、ショーン・トンに我慢して乗ってもらいました。この変更が良かったのか、予選はクラス11位と厳しい結果に終わりましたが、決勝レースはレースラップもよくタイヤのライフも他のトップチームと変わらなかったため、チーム結成以来過去1番のレースが出来たと思います。途中でアクシデントもありましたが、初めて表彰台が見えたレースだったので、5位という結果には悔しい思いはありますが、僕自身がまだまだ経験値をあげていかないとこれ以上の結果を残すことは厳しいことは実感したので、これからも努力して頑張っていきます。今回は大勢の方がサーキットに応援に来て頂き有難うございました。

また、スポンサー各社の皆様、1年間ご支援、応援頂きまして、本当に有難う御座いました。



[Bドライバーコメント] Shaun Thong

「今年の最後のレースで、素晴らしい結果で終わらせたい」と思っていました。それを実現する事ができてうれしいです。

予選は難しいと思いましたが、決勝レースでのバランスをとることに集中しました。そして僕たちのレースペースは本当に強かった。最初のスティントでなんとか2位まで行き、最後に5位にてレースを終えました。

レースの2/3をドライブしましたが、チームに感謝したいと思います。

私を信じてくれたすべての人達に、岡山でトップペースを見せる事が出来てとてもうれしいです。

非常に困難な年であり、ミスを犯し、マシンにも小さな問題がありましたが、経験を積むことで競争力のあるレースができることを示す事が出来ました。

一年間応援をありがとうございました！

